



えぼし麻呂

えぼ丸通信 No.2



げんき丸

- 1P 依頼講座開催
- 2P 『地域包括ケアシステム』ってなに？
- 3P 在宅医療介護連携推進事業
部会・検討グループ報告
- 4P 多職種連携研修会 相談実績と依頼講座報告

発行元：茅ヶ崎市保健所
地域保健課在宅ケア相談窓口
〒253-8660
茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 8-7
Tel.0467-38-3319（直通）



依頼講座開催

在宅ケア相談窓口では、在宅ケアに関する講師を派遣しており、現時点で6件の依頼をいただきました。その中で、11月7日海岸地区民生委員児童委員協議会の場で研修を行い、会長の丸山さんに参加後のご意見を伺いました。

.....

民生委員児童委員は高齢者、障がい者、子育て中の家庭、生活に困っている家庭等福祉の支援が必要な時相談出来る身近な支援者です。民生委員の大きな役割の一つに相談に応じ専門家に繋ぐという事があります。今まで在宅医療、介護の相談を受けた時にどこを紹介すればよいのか？迷う事がたびたびでした。本年6月保健所内に「在宅ケア相談窓口」が開設され海岸地区民児協では11月に研修会で大野相談員より講習を受け、今後在宅医療介護の相談を受けたときは即座に紹介出来る窓口が出来たと感じました。

少子高齢化、核家族化が進む中、地域力強化が必要であり、地域包括ケアシステムの実現に向けて「在宅ケア相談窓口」の果たす役割は大きいと思われます。これから地域住民の良き相談窓口として、また地域包括ケアシステム構築に向けて大きな役割を担う事を期待しています。



茅ヶ崎市海岸地区民生委員
児童委員協議会会長
丸山泰氏

『地域包括ケアシステム』ってなに？

最近この言葉をアチコチで聞くことが多くなりましたが、なんとなく聞いたことはあるけど・・・という方が多いのが現状ではないでしょうか。

そこで今回は、この言葉の意味について書きたいと思います。

皆さんは、日本の人口が減少傾向になっていることはご存知でしょうか。日本で定期的に行われている国勢調査では、2008 年の 1 億 2808 万人をピークにして、これから 30 年後くらいには 1 億人まで減少すると予測されています。その後も減少は続き、1970 年に約 7% だった高齢化率（総人口のうち 65 歳以上の高齢者が占める割合）が、2010 年には 21% を超え、2050 年には 40% を超えるという予測もあります。

これらを踏まえて今後課題となる事は、生産年齢人口（15 歳から 64 歳人口）の減少、要介護や認知症の方の増加、医療費の増加、そして多死社会の到来という現実です。また、国が実施したアンケート（内閣府「高齢者の健康に関する調査」H24 年）では、人生の最期は自宅で迎えたいという方が 50% を超えています。そして、国の方針として病院の効率的な運用が推奨され、今以上に病院のベッド数が増えることはないと言われています。

このような状況を踏まえ、国は高齢者の方ができるだけ健康を保つための介護予防事業を推進し、医療が必要となった場合も、急性期の治療が終了した時点で、その後の医療は在宅で継続する「時々入院、ほぼ在宅」という在宅医療連携システムの構築を推奨しています。これらに対して、住民の方が安心して暮らせることを目指し医療介護の連携を図ることが「地域包括ケアシステム」ということになります。

このシステムを構築するために、地域の中では医療介護に関する専門職や行政が、住民の皆さんと協同しながら頑張っています。ここに住めてよかったと思える地域作りを目指し、みんなが自分にできることを持ち寄りながら、豊かな社会にしていきたいと思います。

—厚労省「地域包括ケアシステム」より抜粋—

「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制を構築する」

在宅医療介護連携推進事業

部会・検討グループ報告



在宅ケア相談窓口では、在宅医療介護を推進するために以下の話し合いの場を設けています。『地域包括ケアシステム』の構築を推進し、さらに深化させるために、多くの専門職の方の力をお借りして、様々な視点から検討を重ねています。毎回 19 時 15 分という遅い時刻から始まりますが、皆さんの熱意で大変有意義な時間となっています。

1. 医療介護連携推進部会 実施日 7/13 11/29（予定）(3/22)

部会長を医師会の富田一郎先生にお願いし、医師会・歯科医師会・薬剤師会・理学療法士会・病院・看護師・介護支援専門員・地域包括支援センター等からの代表者 32 名が集まり、事業を推進する要となる部会です。

2. 検討グループ

（主な検討内容）

情報共有

7/20 10/19

(1/11)(3/1)

在宅で療養している方の情報共有についての課題を検討。今後は ICT（電子媒体による情報共有）を視野に入れながら、現状に合った方法を検討予定。

在宅ケア相談窓口

7/27 10/18

(1/18)(3/8)

地域内における在宅医療介護連携の課題について検討。医師会を中心に、訪問診療の体制について話し合った。今後は在宅ケア相談窓口の役割を明確にしながら、在宅で療養している方の医療体制について検討予定。

医療と介護の連携

11/9（2/22）

「医療・介護の連携用紙」使用状況について確認し、今後の方向性について検討。在宅医療介護の情報を把握するための管理方法等について、ホームページを利用して、必要な情報の取り方を検討予定。

多職種連携研修会報告

第 14 回 多職種連携研修会開催

平成 29 年 11 月 16 日(木)19:15 から

参加人数 134 名 (ケアマネジャー30 名・
薬剤師 27 名・看護師 22 名のほか、医師・
歯科医師・社会福祉士など)

『地域における在宅ケアの課題を共有する』
という目的で、グループワークが行われました。
研修後のアンケートでは、「とても活発
なグループワークだった」「横のつながりの
必要性を再認識しました」「他職種の業務が
理解できた」「今日からできることを実行し
たい」等書かれており、大変充実した研修と
なりました。

お仕事を終えてから参加する方が多く、専門
職の方の熱意には頭が下がります。

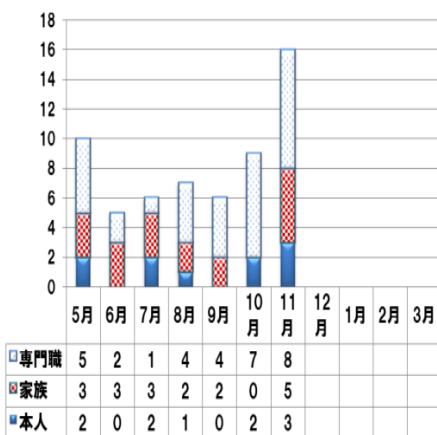


グループワークの前に、
「**エイエイオー!**」の掛け
声とともに、団結を図り
ました。その後の意見交
換は、皆さんの熱気で汗
ばむほど白熱しました。



相談実績と依頼講座報告

新規相談件数(件)



依頼団体と受講人数

時期	依頼団体	受講人数
7月	茅ヶ崎の高齢社会を よくする一万人委員会	11人
9月	茅ヶ崎・寒川地区歯科衛生 士の会「ハッピーマウス」	11人
10月	一般社団法人 茅ヶ崎介護 サービス事業者連絡協議会	116人
11月	海岸地区民生委員児童 委員協議会	27人
11月	おれんじリング湘南	53人
12月 (予定)	麒麟ビバレッジ 株式会社	
合計		218人

講師の派遣を希望される方は、茅ヶ崎市保健所
地域保健課 在宅ケア相談窓口にご連絡くだ
さい。

TEL 0467-38-3319